平 成 25 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称　特定非営利活動法人WE21 ジャパンかながわ

1　事業の成果

2013 年度は、六角橋・大口・反町の 3 つの WE ショップを拠点にリユース・リサイクルを推進する環境事業や民際支援事業の活動を継承していくこと、地域への発信を含めてさらに進めていくこと、また、3 つの WE ショップが連携し力を合わせることを意識して進めてきました。

2001 年度から六角橋・大口・反町と 3 つの WE ショップがリユース・リサイクル事業における地域の拠点として活動を進めてきました。神奈川区の中で 3 つの WE ショップを拠点としての活動は、より広範な地域の人々の参加を促すことになり、リユース・リサイクルを推進する環境事業を着実に拡大してきました。しかし、反町店の営業について、これまでその活動の継続にさまざまな努力をしてきましたが、立地条件からも売上の向上の可能性もきびしい、など営業継続がむずかしい状況に至っています。六角橋店で廃食油の回収の取り組みを始めました。東京油田が展開している事業で家庭から出る廃食油から燃料を精製するものです。WE21 ジャパングループの地域 NPO と共に WE 油田として廃食油のリサイクルを進めます。

民際支援事業においては、これまで、モンゴル・フィリピン・カンボジアを柱に継続して行ってきましたが、2013 年度は海外支援助成費の計上が難しいことなどからモンゴル・フィリピンの 2 件を柱にすることとしました。カンボジアへの支援は「幼い難民を考える会」（CYR）との出会いから続いていましたが CYR の都市部の保育事業もいったん完了したことによりカンボジアへの支援を取りやめました。
フィリピンは、WE21 ジャパンの 15 周年記念の企画で 2 名の現地スタッフの招請にあわせてミニフォーラムを開催するなど、より深い連携、広がりを見ることができました。また、フィリピンに関心を寄せるメンバーが増えたことは大きな進展です。
モンゴルは、5 月の突風による被害によりビニールハウスなどがなくなってしまい、希望の村の皆さんが落胆している報告を受けました。これまでも、病気になって亡くなった方もあり順風なことばかりでないことを知りました。支援を通してその国のことを深く知り、理解すること、それが WE21 の支援だという理解のもと民際支援事業を進めてきました。

広報では、長い間の課題でありましたブログの開設を実現しました。若いスタッフの協力によるもので新たな広報手段として、広く情報の発信をすることができるようになりました。また、大口店では商店街のチラシ（2万部発行）に掲載することにより、広く WE ショップを知らせる機会となりました。

神奈川区国際協力ネットワーク（KK ネットワーク）の参加メンバーを中心に、「神奈川区に国際交流ラウンジを作る会」を結成し、多文化共生という課題に向き合うために実現に向けて活動を進めています。
イオン東神奈川店の「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加し地域の人々への存在を示すと共に、投票に応じた金額分の商品券の寄付を受けました。

２ 事業内容

（1）特定非営利に関する事業

①資源のリユース・リサイクルを推進する事業

ア　ショップ事業

内　容　リユース・リサイクル事業を環境事業と認識し、「WEショップかながわ六角橋店」「WEショップかながわ大口店」「WEショップかながわ反町店」を運営しました。

〇WEショップかながわ六角橋店

日　時　　通年

場　所　　横浜市神奈川区西神奈川 3-16－1

従事者人員　スタッフ1名　ボランティア１９名

受益対象者　　神奈川区西神奈川周辺に在住の市民　顧客数　7991 名　寄付者　1674 名

支出額　　5,701,626 円

〇WEショップかながわ大口店

日　時　　通年

場　所　　横浜市神奈川区大口通 7－3

従事者人員　スタッフ　1 名（4 月～6 月）2 名（7 月 10 日から）　ボランティア　16 名

受益対象者　神奈川区大口周辺に在住の市民　顧客数 7581 名　寄付者　1449 名

支出額　　5,342,057 円

〇WEショップかながわ反町店

日　時　　通年

場　所　　横浜市神奈川区松本町 2-18-12 池田ビル1F

従事者人員　スタッフ 2 名　ボランティア 11 名

受益対象者　神奈川区松本町周辺に在住の市民　顧客数　5716 人　寄付者　1116 名

支出額　　4,184,384 円

イ　セール

売上達成、感謝の意をこめてセールを企画し、実施しました

六角橋店　6 回　大口店　5 回　　反町店　8 回

ウ　きもの市

3ショップ合同で１１月に実施しました。

売上の中から 100,000 円をふくしまオーガニックコットン PJ に寄付する事ができました。

売上：321,935 円　531 点　客数 190 人　（11 月 13 日～15 日）

寄付：100,000 円　NPO 法人ザ・ピープル「福島復興支援」

エ　リメイク活動

ファイバーや見切り品を活用し、資源の有効活用を図りました。

〇リメイク講習

内　容　　リメイク品を作る意義、楽しみを共有し作る人を増やしました。

日　　時　　毎月1回第3金曜日　年間10回開催

場　所　　WE ショップかながわ六角橋店

従事者人数　リメイクチームメンバー　10名

受益対象者　神奈川区在住の市民　年間合計37名

〇出前講習

内　　容　　施設からの依頼を受けリメイク品作成講習を行いました。

日　　時　　7月30日　10月13日　12月3日

場　　所　　十日市場地区センター（2回）　横浜アクト・福祉コーナー

従事者人数　リメイクチームメンバー　10名

受益対象者　開催場所周辺の市民　合計71名

〇布ぞうり講習

日　　時　　毎月1回第4火曜日　年間10回開催

場　　所　　WEショップかながわ六角橋店

従事者人数　　神奈川区在住の市民　リメイクチームメンバー3名

受益対象者　　神奈川区在住の市民　年間合計18名

〇WE21ジャパン主催の WE フェスタに参加しました。

〇WE21 ジャパンが世界食料デー月間に電通エントランスでのパネル展示とリメイクエプロンを配布することになり、エプロン制作ワークショップに参加しました。（4 名）

＊リメイク活動支出額　30,453 円

オ　携帯電話回収キャンペーン

内　　容　　携帯電話に使われているレアメタルのリサイクルをしている、A　SEED　JAPAN主催の携帯電話回収キャンペーンに 3 ショップで取り組み、合計 24 台を回収しました。

日　　時　　7 月　8 日～　8 月　2 日（六角橋店）

8 月　5 日～　9 月　7 日（大口店）

9 月　9 日～10 月　4 日　（反町店）

従事者人数　　ショップスタッフ、ボランティア

受益対象者　　A　SEED　JAPAN

＊合計 24 台回収

カ　WE油田＝廃食油の回収を開始しました。

内　　容　　廃食油の回収ステーションとなりました。

日　　時　　12月より開始

場　　所　　WEショップかながわ六角橋店

従事者人数　ショップスタッフ、ボランティア

受益対象者　六角橋店近隣の市民

支出額　　10,000 円

〇WE油田の学習会開催

内　容　　WE油田を開始するに当たり学習会を開催しました。
日　時　　10月4日
場　所　　WEショップかながわ六角橋店
従事者の者　講師　1名
受益対象者　会員、スタッフ、ボランティア　17名
支出額　　1,820 円

キ　3．11をわすれない
内　容　　3月11 日の3ショップの衣類・雑貨の売上げを東日本復興支援に寄付しました。
日　時　　3 月 11 日
場　所　　WEショップかながわ六角橋店、WEショップかながわ大口店、WEショップかながわ反町店
従事者人数　ショップスタッフ、ボランティア
受益対象者　特定非営利活動法人　ザ・ピープル
支出額　　57,360 円

ク　販売できなかった寄付品
衣類：（株）ナカノ
陶磁器・ガラス器：（有）飯室商店、木村完工（株）と連携し最後までリサイクルに責任をもちました。

②アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

おもにアジアにおける市民、とりわけ女性の生活向上と自立のための支援をしました。国内においては、東日本大震災（2011.3.11.）による復興自立のための活動に支援しました。

ア　海外 NGO、国内 NPO のプロジェクト支援をしました。
2013 年度海外・国内支援助成金　　総額　920,160 円
〇海外支援　合計金額　675,100 円

≪助成金≫　　合計　450,000 円

支援先		支援国	プロジェクト名	金額
①	住民組織「ダイヨコン」	フィリピン	自然と環境に優しい成長と持続可能な経済を目指す先住民族の開発	200,000 円
②	希望の架け橋	モンゴル	希望の村「母子家庭の自立支援」	200,000 円
③	WE21 ジャパン/コーディリエラ・グリーン・ネットワーク(CGN)	フィリピン	コーヒーのｱｸﾞﾛﾌｫﾚｽﾄﾘｰ栽培による災害に強いコミュニティづくり	50,000 円

≪寄付・募金≫　　合計　225,100 円

寄付先		支援国	プロジェクト名	金額
④	ファンサバジュニア（FAN3jr）	マリ共和国	職業訓練校の学費	60,243 円
			職業訓練校の学費募金	857 円
⑤	日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）	イラク	イラク・福島の子どもたちとシリアの難民支援のチョコ募金	150,000 円
⑥	日比 NGO ネットワーク	フィリピン	台風被害緊急募金	14,000 円

○東日本復興支援　合計　245,060 円

≪寄付・募金≫　　合計　245,060 円

寄付先		県名	プロジェクト名	金額
⑦	ザ・ピープル	福島	ふくしまオーガニックコットン	157,360 円
⑧			ふくしまオーガニックコットン PJ 募金	48,000 円
⑨	えぜるプロジェクト	宮城	塩釜の仮設住宅に住む人々の支援「手仕事くらら」募金	39,700 円

イ　フェアトレード品の取り組みをしました。

○　ネパール産コーヒー、紅茶、カレースパイスセットを販売し、女性の生活向上に寄与しました。（　258 点　112,006 円）

○　WE21 ジャパンが輸入元となっているフィリピンのジンジャーティに取り組みました。その収益は住民組織の基金と個人の収入に当てられています。（　236 本　143,500 円）

○　モンゴルの無職の母親の自立支援、女性の生活向上支援として、羊毛から作ったフェルトスリッパとアニマルマスコット（羊、ヤギ、馬、らくだ、ヤク、牛）をモンゴル支援連絡会に参加する他のWE21地域 NPO と共に取り組みました。（スリッパ　94 足　144,674 円　マスコット　5 セット　5,400 円）

○　パレスチナの伝統技術によって作られたオリーブ石けんをフェアトレードする事で、パレスチナへの理解を深めました。（　60 個　22,800 円）

ウ　緊急支援

フィリピンにおいて、台風 30 号により多大な被害を受けた被災地の一つサマール島に対し、ショップにおいて期間を決め募金活動を行いました。（11 月 21 日～2 月 28 日　14,000 円）

エ　東日本復興支援＝NPO法人ザ・ピープルの復興事業＝オーガニックコットンプロジェクト

○　綿つみツアー

日　時　　10 月 18 日

場　所　　福島県いわき市
従事者人員　19 名
受益対象者　特定非営利活動法人ザ・ピープル
支出額　　79,329 円

○ 募金　3 ショップでの店頭募金と大口店が納涼夜店参加時の募金　　（募金合計　48,000 円）
○ きもの市の売上げの一部　（寄付金　100,000 円）

オ　アジア・友だち・みらい貯金箱を配布し、WE21 かながわの取組みとして募金を集めアフガニスタンの教育事業に寄付しました。WE21 主催の報告会にも参加し理解を深めました。今年度のアジア・友だち・みらい貯金の WE21 ジャパンの総額は　396,910 円です。

（WE21 かながわ回収数　20 箱、 WE21 回収数 166 箱）

カ　WE21 ジャパンが呼びかけた「貧困なくそうキャンペーン」に参加しました。
「貧困」を考えるにあたりアフリカに焦点をあてて取り組んできました。これまでブルキナファソへの支援を通して貧困について考えてきましたが、今年度はマリ共和国を対象としました。

○ 内　容　売上の 10%と募金を寄付しました。
日　時　10 月 1 日～17 日（売上）　10 月 1 日から 30 日（店頭募金）
場　所　WEショップかながわ六角橋店、大口店、反町店
従事者人数　ショップスタッフ、 ボランティアの者
受益対象者　ファンサバジュニア（FAN3jr）
支出額　　61,100 円

○ 内　容　STAND　UP　TAKE　ACTION
日　時　9 月 30 日、10 月 11 日
従事者人数　ボランティア、地域の市民の者

○ 3 ショップ店内をアフリカの衣服や布、写真等アフリカのものを展示し、アフリカを身近に感じることができました。

キ　チョコレート募金
内　容　日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）のチョコ募金
日　時　1 月 15 日～2 月 14 日
場　所　WEショップかながわ六角橋店、大口店、反町店
従事者人数　会員、スタッフ、ボランティア、 ショップ周辺地域の市民の者
受益対象者　日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）
支出額　　150,000 円　（チョコレート 300 個）

③　地域の市民の国際的な意義の自覚を促進する事業

支援活動を推進するため、アジア地域の人々（特に女性）の自立支援に携わっている人や現地で活動している人を招いて「WE　講座」「報告会」・「ミニフォーラム」・「音楽会」を開催、交流会を開催しました。

ア 内　容　　～アジア・友だち・みらい貯金箱～アフガニスタン報告会

日　時　　5 月 26 日

場　所　　松本 1・2 丁目町内会館

従事者人数　報告者 1 名

受益対象者　会員、スタッフ、ボランティアの者 14 名

支出額　　15,969 円

イ 内　容　　ネパリ・バザーロ/フェアトレード学習会

日　時　　7月 5 日

場　所　　松本 1・2 丁目町内会館

従事者人数　講師 1 名

受益対象者　スタッフ、ボランティア、地域の市民の者　20 名

支出額　　12,375 円

ウ　内　容　　WE講座「マリ共和国を知ろう」 ＆ 音楽会「コラの演奏」

日　時　　9 月 30 日

場　所　　神奈川公会堂

従事者人数　2 名

受益対象者　会員、スタッフ、ボランティア、地域の市民の者　34 名

支出額　　17,700 円

エ　内　容　　ミニフォーラム「フィリピンと市民交流から考える平和」 ＆交流会

日　時　10 月 11 日

場　所　は一と友

従事者人数　3 名

受益対象者　会員、スタッフ、ボランティアの者　報告会 26 名、交流会・昼 22 名、夜 15 名

支出額　23,620 円

オ　内　容　　報告会「モンゴル　希望の村報告会」

日　時　　2 月 10 日

場　所　　松本 1・2 丁目町内会館

従事者人数　1 名

受益対象者　会員、スタッフ、ボランティアの者 16 名

支出額　　992 円

④ この法人の事業の広報普及を図る事業

ア 内　容　　「WE21 ジャパンかながわニュース」「WEショップかながわニュース」の発行

日　時　　5 月、10 月、3 月

場　所　　WEショップ六角橋店、大口店、反町店、

従事者人数　3 名
受益対象者　会員、スタッフ、ボランティア、地域の市民の者、生活クラブ神奈川区組合員
支出額　28,620 円

イ 内　容　セール、寄付品募集のチラシ
日　時　通年
場　所　WEショップかながわ六角橋店、大口店、反町店、ショップ周辺地域の市民
従事者人数　3 名
受益対象者　会員、スタッフ、ボランティア、地域の市民の者
支出額　31,054 円

ウ 内　容　支援先の写真からパネルやポスターを作成しイベントに活用
日　時　10 月 1 日～17 日　貧困なくそうキャンペーン
11 月 3 日　みんな DE まつり
11 月 23 日　セネガル物語
1月 14 日～2 月 14 日　チョコレート募金キャンペーン
3 月 11 日　３．１１を忘れないキャンペーン
場　所　WEショップかながわ六角橋店、大口店、反町店、反町公園、神奈川公会堂

エ 内　容　タウンニュースに広告を載せ、広く地域に周知
日　時　1 月 1 日号、1 月 9 日号、2 月 6 日号
従事者人数　1 名
受益対象者　神奈川区在住の市民
支出額　10,500 円

オ ブログを開設しました

⑤ その他、第 3 条の目的達成に必要な事業

ア　平和な社会の構築に向けての活動

〇WE21 ジャパン主催平和シンポジウム「へいわってすてきだね」・・平和を脅かす基地・核・オスプレイ・・に参加し、沖縄の問題を知ることにより沖縄を入り口として平和を考えるきっかけとなりました。　9 月 14 日 （参加者:3 名）

〇WE21 ジャパン主催の「チェルノブイリと下北半島の核サイクル施設の現状」に参加してチェルノブイリの核サイクル施設の現状を学び、福島から日本の未来に向けて考え、今後の活動につなげていきます。　2 月 27 日 （参加者:2 名）

〇「子ども・被災者支援法の幅広い適用と早期実施賠償の時効問題の抜本的な解決を求める請願署名」を実施しました。署名人 20 筆。

イ 多文化共生の地域づくり

多文化共生を進めるため「神奈川区に国際交流ラウンジを作る会」を神奈川区国際協力ネットワーク参加団体の一員として立ち上げにも参加し、実現に向けての活動に取り組みました。

ウ　他団体及び地域との連携

○ コミュニティオプティマム福祉マネージメントユニットかながわ（以下ユニットかながわ）に参加し神奈川区内の生活クラブ運動グループとの連携を図りました。毎月 1 回の運営委員会に出席して活動の情報を発信しました。

・「みんなDEまつり」（反町公園にて開催）に参加し、活動のアピールと参加団体のメンバーとの交流を図りました。 11 月 3 日　　参加者　23 名

・防災学習会「備品食品の災害時における調理」に参加し非常時に生かせる調理を学びました。（3 月　25 日）

○ 神奈川区国際協力ネットワーク（以下KKネットワーク）に参加し、定例会に出席して神奈川区内で国際協力を課題としているグループとの連携を図り、活動の情報を受発信しました。

・KK ネットワークの参加団体であるアフリカルチャー主催の「セネガル物語」に協力団体としてチケットの販売協力をし、会場で WE21 かながわのパネル展示を行いました。

・「神奈川区に国際交流ラウンジを作る会」に参加しました。

○神奈川区　区民活動支援センター・交流室利用に登録して、支援センター交流会に随時出席し、他の団体にWE21 かながわの活動をアピールしました。

神奈川区区民活動支援センター主催の活動 PR 店展に参加しパネルを展示して活動のアピールをしました。（10/21～10/29）

○ 「神奈川区国際交流フェスティバル in 神之木」に参加して大口地域で国際関係の活動を行っている団体との交流を行い、フェアトレード品のアピールを行いました。（2 月 9 日）

⑥その他

・イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンに参加しました。（イオン東神奈川店）

イオンが実施している毎月 11 日の買い物の際にだす黄色いレシートの投票により、商品券が発行され、品物の寄付を受けることができます。地域の人々に WE21 かながわの存在のアピールになります。（黄色いレシート投函総額　489,778 円　その 1%　4,900 円のイオンギフトカードの寄付）